

ハイキング部だより

第232回

令和5年(2023年)7月2日(日)～赤目四十八滝ウォーキング

コース:赤目口駅⇒(バス)⇒赤目滝バス停～

ゲート(オオサンショウウオ(大山椒魚)センター)～不動滝～乙女滝～

八畳岩～千手滝～布曳滝～百畳岩～(折り返し)～ゲート～

赤目滝バス停⇒(バス)⇒赤目口駅(往復約6キロ)

参加者 16名

7月2日(日)第232回ハイキングを実施しました。参加者16名。昨日まで雨が降っていましたが幸運にも梅雨の合間の夏日和となりました。

近鉄大阪線「赤目口駅」を10時5分発のバスで赤目四十八滝に向かいました。赤目四十八滝は、三重県名張市赤目町を流れる溪谷にある一連の滝の総称です。地名の「赤目」は役行者が修行中に赤い目の牛に乗った不動明王に出会ったことが由来と言われています。

溪谷の入り口で入山料500円を払い、先ず「日本サンショウウオセンター」に入りこの地域に棲息している国の特別天然記念物サンショウウオが飼育されている様子を見ました。それからいよいよ滝巡りです。最初が「不動滝」高さ15m、不動明王にちなんで名付けられました。乙女滝、大日滝そして八畳岩へ、さらに急な坂を上って「布曳滝」へ、高さ30m1本の布が落下しているようなところから名付けられました。「千手滝」は高さ15m、岩を伝って千の手のように横に広がって流れているように見えます。さらに進んで「百畳岩」へ岩の広場となっておりここで昼食にし、しばらく休憩しました。休憩のあと来た道を引き返しバス停に向かって溪谷を下りました。茶店で休憩の後14時40分のバスで赤目口駅に向かい15時02分発の電車で帰途に着きました。今日は21あると言われる滝のいくつかを巡り滝のマイナスイオンを浴びて大いにリフレッシュできた一日でした。



千手滝(せんじゅだき)をバックに



布曳滝(ぬのびきだき)をバックに



赤目口駅前で



赤目四十八滝入口



行者滝(ぎょうしゃだき)



不動滝(ふどうだき)



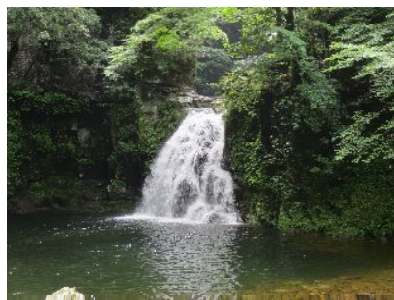
不動滝(ふどうだき)



乙女滝(おとめだき)



八畳岩(はちじょういわ)



千手滝(せんじゅだき)



布曳滝(ぬのびきだき)



千手滝(せんじゅだき)をバックに



百畳岩で昼食



百畳岩(ひゃくじょういわ)



姉妹滝(しまいたき)



百畳岩から帰り



布曳滝(ぬのびきだき)



陰陽滝(いんようたき)



布曳滝から帰り



赤目滝バス停へ



バスで赤目口駅へ

第232回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 赤目四十八滝ウォーキング ～

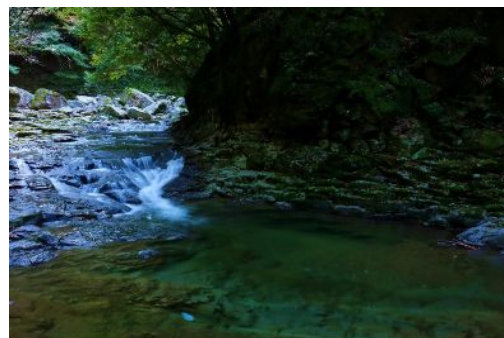
日 時:令和5年7月2日(日) 近鉄大阪線「赤目口駅」集合

コース:赤目口駅⇒(バス)⇒赤目滝バス停～ゲート(オオサンショウウオ(大山椒魚)センター)～不動滝～乙女滝～八畳岩～千手滝～布曳滝～百畳岩～(折り返し)～ゲート～赤目滝バス停⇒(バス)⇒赤目口駅(往復約6キロ)

赤目四十八滝は、三重県名張市赤目町を流れる滝川の渓谷にある一連の滝の総称です。「日本の滝100選」、「森林浴100選」、「遊歩100選」、「名水100選」など数多くの名所に選定されており、ハイキングなど渓谷内の大自然を思う存分楽しむことができます。ハイキングコースには大小さまざまな見ごたえのある滝が21か所あり心身ともに癒しを与えてくれる渓谷です。地名の「赤目」の由来は、役行者が修行中に赤い目の牛に乗った「不動明王」に出会ったことがきっかけと言われていると伝えられています。



不動滝(ふどうだき)



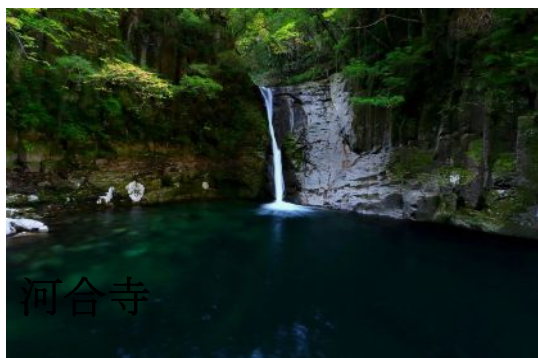
乙女滝(おとめだき)



八畳岩(はちじょういわ)



千手滝(せんじゅだき)



布曳滝(ぬのびきだき)



百畳岩(ひゃくじょういわ)